

輸出事業計画

申請者名：日本ホワイトファーム新潟コンソーシアム

品名：鶏肉

1. 輸出における現状と課題

○現状

・日本ホワイトファーム新潟（株）は、令和元年次に香港へ3t、ベトナムへ24t輸出。（令和2年次は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内需要急増への対応等により、一時的に輸出量は減少した）

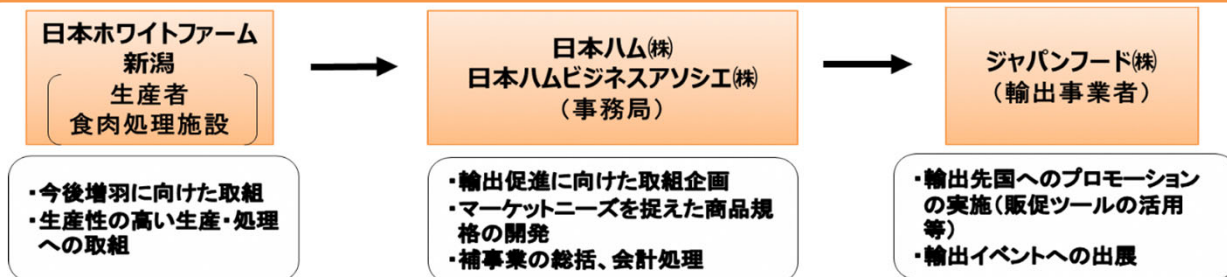
課題

・香港・ベトナムともに、今までプロモーション活動や商談会への参加等の販促活動を実施したことがなく、顕在的な需要に対してアプローチしているのみで、日本産の強みを強く活かした売り込みが出来ていない。
・業務用パック（2kg）での輸出のみを行っており、現地でニーズが高まっている小分けパック輸出に対応できておらず、現地の需要を捉え切れていない。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・日本産の長所を活かした文言とイメージで需要を捉えるプロモーションを行う予定。
- ・各商品、イメージアップに向けたステッカー等の販促ツールの作成や、現地販売時における製品への貼付等によりブランド力向上を図る。
- ・また、日本ハムグループが持つ食肉ブランドを活かし、現地でのブランド価値認知向上に資する取組（商標登録のための調査や実施の取組）を実施。
- ・香港においてニーズのある小分けパックでの輸出を開始するため、包装資材の検討・実証試験等を実施。
- ・試食会等の個別の販促イベント及び輸出EXPOの参加を検討する。
- ・商品規格について、パッキングが細かいリテーラー向け等のニーズに合致した商品作りを目指すため、市場調査や包装資材の検討等を行う。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



※この他、新潟県庁による指導のもと、畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業を実施し、現地でのプロモーション活動を実施する。

4. 輸出目標額

日本ホワイトファーム新潟 輸出コンソーシアム		現状 (令和2年)	目標年 (令和6年)
新潟県全域	輸出額(百万円)	0.5	11.7
	輸出量 (t)	0.7	45.6
	輸出先国	香港、ベトナム	同左
	生産量/取扱量 (t)	18,527 t	20,797 t